

大和の隣組

十一月一號

昭和十九年十一月一日發行
昭和十九年十月廿八日印刷

定價部一	
雄秀所	行發
町石磯高市良奈	
郎太曾田岡	人幹務
地番〇一町社中市良奈	
所刷印村吉	所刷印
目丁三南町家西市良奈	
部政内廳縣良奈	所行發
内課方地	
區製良奈町路大市良奈	

次 目

- △愛國百人一首
- △十一月の常會徹底事項
- △麥は適期播種ニ廣幅薄蒔
- △貯蓄目標三億四千萬圓に増額
- △兵器ニなる林産物増産及増送
- △昭和二十年度滿蒙開拓青少年
義勇軍募集標語當選發表

愛國百人一首

伴林光平歌

君が代は

いはほと共に

動かねば

くだけでかへれ

沖 つ

しら浪

十一月の常會徹底事項

「必勝増産へ、この冬も頑張りぬかう」

今こそ一億憤りの火の玉となつて醜敵撃滅へ突進せねばならぬときです。決戦の冬、寒さを精神力で乗りこえ、一人残らず足並をそろへて兵器と食糧の増産に邁進させよう。

(一) 「増産戦士をみんなて激励」

應徴士や勤勞報國隊員、女子挺身隊員などをお互に勵まし合ひ、出来るだけその家庭のお世話もし合つて、安んじて職場に挺身出来るやうにさせよう。

(二) 「感冒を豫防、強い身體に」

恐ろしい感冒は増産の敵です。乾布摩擦や體操、薄着なごの勵行で冬の寒さに耐へ得る強い身體に鍛へませう。

またこの冬の炭、まきなどの燃料は出来るだけ少なくて済むやうに工夫し、不要の庭木の伐採などで出来るだけ燃料の自給も工夫させよう。

(三) 「新穀感祭は嚴肅に」

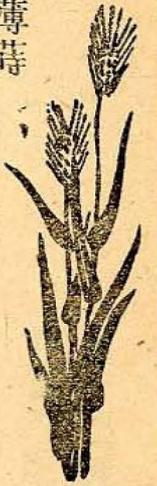
二十三日の新嘗祭には各地の神社で新穀感謝祭が行はれます。お互に「一粒の米」にもこもる有難い神恩に感謝し、いよゝゝ食糧尊重の念を深めさせよう。

農村では一層食糧増産と供出の決意を神前に誓ひませう。

麥

適期播種と

廣幅薄蒔



前號に本縣の從來の麥の栽培法は甚だ遺憾の點がある事を記したが本年こそは是非縣や市町村農業會の示す耕種改善基準に従つて栽培して貰ひたい。

麥増産上最重要なる事項は適期播種の問題である、之れは地方の事情に依り又品種によりて皆異つて居るが地方的に品種別の適期、農業會の技術者の指導を受けて貰ひたい。

即ち水田裏作にあつては最初は稻刈取作業のみとし稻脱穀作業を後廻しにし刈取済田より逐次架掛下を残して脱穀までに蒔付けることが早期蒔付の一方途である。

尙努力並前關係及裏作に於ける排水の關係等にて適期播種出来る場合又は適期播種出来ても鳥害被害ある地方及び架掛下等は麥の移植栽培法に依る極めて合法的であり効果的である。

一、苗代

用地、排水良好なる畑地であつて本圃一反歩當り約二〇坪肥料、播種前坪當り稀釋人糞尿約九升、播種後糞灰三升一

三升

播種、播種期は平坦部十月下旬—十一月月上旬、中間部十月月中旬—下旬、山間部十月月上旬、坪當り一合—二合

二、移植

時期、平坦部十二月上旬、中間部十一月月中旬—十二月上旬、山間部十一月月上旬—中旬
移植法、株間三寸—五寸の距離に作條に沿つて一株三本—五本宛根を揃へて立てかけるこの苗の配置が終れば稍々深めに覆土を行ひ植込み覆土後根際を踏壓して稀釋人糞尿をかけるが良い。

三、管理

普通作に準じて行へば良いが活着する迄は踏壓を行ひ活着後は速に中耕土入を行ふ、踏壓可能な地方は麥の本葉六枚迄二—三回土入と同時に麥踏を實施すること。

以上春の増産上最重要なる適期播種を是非實行し事情止むを得ず適期を失したる場合は移植栽培法に依り決戦下の食糧増産の實を擧げて貰ひたいのである。

貯蓄目標

三億四千萬圓に増額

血戰調で達成しよう

臨時軍事費豫算が追加されこの財源なる公債消化資金として國の目標五十億圓が増額され本縣の目標も二億六千萬圓から八千萬圓を増し三億四千萬圓に改訂された、當初目標に比して約平均三割七厘の増になつてゐる。

縣では地方事務所や市の目標を早速改訂したが本紙が各家庭に回覽される頃はもう部落會、町内會を経て各人の目標がドシドシ改訂されてゐるよう、萬一まだ増額改訂されてない向は全縣的貯蓄進軍に後れてゐるものである。

年度半に多額の目標を増額されたのでこの達成は實に容易ならぬものがある。併し容易でないと言つて達成せすには置かれぬ三億四千萬圓である。

自前正に大反撃戦が見えてゐる我々は只管蓄めて蓄めて蓄め抜かう。努力次第では必ずそれ以上達成し得る三億四千萬圓である。貯蓄の方法はもう皆さんも充分御存知の筈であるがこの際、も

う一度次の事項を省みて目標突破の實行に拍車を掛けて貰ひたい。

一、貯蓄が出来ぬと戦争が出来ない

二、一寸の時間も惜んで増産や内職副業に勵まう

三、一錢の金も少しの物も大切に

にして使ひ延ばしをしよう

四、競争目的達成した曉、我等の貯蓄が各自の爲にモノを言ふ、貯蓄は我が身の財産造成である

五、貯蓄は必要なときには幾らでも拂戻される空襲等の際少しも心配の要らぬことは實例が物語つてゐる

六、手持現金を多く持つと盜難や紛失するばかりでなく國家に對しても申譯ないから明日から三日は今日から貯蓄しよう。

兵器と林産物増産及増送

戦局は悽愴奇烈の度愈々加り頭敵の執拗なる反攻に對する我陸海空軍の晝夜の別なき必勝戦は反復せられつゝあり、之に呼應する銃後國民として軍の要求される兵器の生産増強こそ緊急なり、然して之等兵器彈丸を造るに無くてはならぬ資材の増産又最も緊要と申さねばならぬ。此處に於て未だ一般に知られぬ然も軍に緊要請さる、特殊林

産物は兵器となり種々重要な資材となる、即ち生漆、アベマキ樹皮、生松脂、松根油、棕櫚皮等は砲爆彈兵器船舶の塗料、船舶燃料醫藥療用、火藥庫航空機の建造用、選鑽用船舶用等に又軍需建設用として竹材、杉檜皮等殊に竹材の如きは最近木材と同様軍用資材に最も必要とされ尙戰時纖維用に其の供出すべき數量は益々加重の一途なり、其の他塗料醫藥農作物害虫驅除劑用等に五倍子(フシ)、アセビ葉(パチコの葉)、團栗類等あり

之等兵器増産に寄與する重要な特殊林産物の増産増送は直に戦力の増強となるは言を俟たず一般は更に認識せられ之が確保に御協力あらんことを切望する

昭和二十年度滿蒙開拓青少年義勇軍募集標語當選發表左記の通り

- 【優】日滿を結ぶさきがけ義勇軍 生駒校 初六 丸岡八郎
- 【優】一人息子が義勇軍 矢田校 高二 前田和彦
- 【優】南に若鷲北に開拓男子 育成校 高二 森 勝弘

蝗



栗生 津生 三帖 伯 郎 伯 郎